

第2ヴァイオリン 常盤 郁子 Ikuko Tokiwa vol.41



ヴァイオリンを始めたきっかけは、母の「本物を見せたい」という想い

♪楽器を始めたきっかけは？

母が北海道の田舎の出身なのですが、結婚して東京に移り、そこで、お菓子でも洋服でも、それまでは雑誌などでしか見ることのできなかつた世界に驚いたそうです。当時は田舎と東京では違いが大きかったようですね。娘の私に「本物を見せたい」という想いで、コンサートや絵画など、いろいろ連れて行ってくれました。幼稚園に入る前に、あるヴァイオリン奏者のリサイタルを聴きに行き、「あれをやりたい」と私自身が言ったらいいのですが、覚えていません。多分、ヴァイオリンではなく、演奏者のドレスにでも憧れたのではないのでしょうか？

それにしても、母の「本物を見せたい」という想いが、村川千秋先生が山響を創立したときの「子どもたちに本物の音楽を」という想いと重なっていて、びっくりです。

♪オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

当時、ヴァイオリンを買ってもらえたのは、ピアノより安いから。そのうちピアノの金額を追い越してしまうので、ヴァイオリンは“詐欺”だという親御さんも多いみたいです(笑)。

大学卒業後、フリーの奏者として活動している中で、たまたま山響にエキストラで呼んでもらい、ちょうどオーディションがあることを教えていただきました。

♪山形でお気に入りのもの、場所は？

お蕎麦は、山形で食べて初めて美味しいと思いました。東京にも蕎麦文化はあるのに。それから、山形は野菜が安くて美味しく助かります。あとは…雪が大変な季節ですが、何年経っても雪道を歩くのが上手くなりません。凍った道をピクピクしながら歩いていると、後ろからご年配の方に追い越されます。

♪ヴァイオリンの魅力は何ですか？

オールマイティなところでしょうか。これはオーケストラに入って初めて気づいた事なのですが、クラシック音楽の範囲でその楽器のために作られた曲が、全ての時代、全ての国にある楽器って、意外と少ないんですよ。その点、ヴァイオリンは時代も国も限定されません。その上、ジャズにタンゴ、ロックまで、さらに民族的なものもジプシー音楽やインド音楽、日本の歌謡曲にだってフィットしますし。本当になんでもできて、シチュエーションを選ばない。すばらしい楽器だと思います。ただ残念なのが、私自身がそのヴァイオリンの特性を活かしきれていないところです。

♪使用している楽器について教えてください。

シャーデ。東ドイツの楽器です。弦楽器としてはまだ若い楽器ですが、楽器屋さんに、あと50年くらい経ったら国際コンクールを受けるくらいの人が弾く楽器になるよ、と言われていました。なので、良い状態で使い次の人につなぐのが、私の務めだと思っています。

♪休みの日の過ごし方は？趣味・特技はありますか？

休みの日は、次の仕事の用意をして家事をすると終わってしまいます。

休日とは関係ないのですが、一昨年、子猫を拾い、今、同居しています。毎日、猫に振り回されて喜んでいます。

♪最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

このような時期に会場まで足を運んでくださって、ありがとうございます。聴いてくださる方がいらっしゃっての私たちです。とても感謝しています。できるだけ皆様の心に寄り添い、お役に立てる演奏を、と思って弾いています。どうぞお体を大切にお過ごしください。そして、またコンサートホールでお会いできる事を、楽しみにしています。